

科目ナンバリング		U-LAS02 20032 LJ37										
授業科目名 <英訳>		言語比較論II Comparative Language Studies II					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 西脇 麻衣子			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)			使用言語	日本語			
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）					
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	水2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向			
（総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）												
[授業の概要・目的]												
現代ドイツ語の主に形態・統語上の諸現象とその歴史的変化について考察する。その際、適宜、英語や他のゲルマン諸語との比較を行う。また、言語類型論的な視点も取り入れる。												
[到達目標]												
ドイツ語を「語学」ではなく、「言語学」の観点から捉えることができる。 ドイツ語史・ゲルマン語史について理解を深める。 同系統の言語を比較する方法論を学ぶ。												
[授業計画と内容]												
1. ゲルマン諸語について（概説） 2. ドイツ語の音韻体系とその歴史的変化について 3. ドイツ語の形態論1：名詞類の語形変化 4. ドイツ語の形態論2：強変化・弱変化動詞 5. ドイツ語の形態論3：動詞の接頭辞 6. ドイツ語の統語論1：冠詞 7. ドイツ語の統語論2：格 8. ドイツ語の統語論3：時称 9. ドイツ語の統語論4：受動形 10. ドイツ語の統語論5：叙法 11. ドイツ語の統語論6：従属節 12. ドイツ語の統語論7：語順 13. ドイツ語の統語論8：否定 14. ドイツ語の統語論9：不一致（性・数・格・時称など） 15. フィードバック												
授業で扱うテーマとその講義順序は履修者の関心によって変更することがある。												
[履修要件]												
ドイツ語の初級文法の知識があること。												
[成績評価の方法・観点]												
成績評価は授業への参加度（50%）及び学期末レポート（50%）に基づく。												
[教科書]												
使用しない												
----- 言語比較論II(2)へ続く ↓↓↓ -----												

言語比較論II(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に紹介する文献に目を通し理解を深めること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]